



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんたちはどのような悩みを抱えているのでしょうか・・・

**Dr. N**「次の方どうぞ～」

**患者 A**「こんにちは。私は、とある図書館の蔵書検索システムです。何故か皆さん検索に苦勞されているようで、途中でやめてしまう人も多くて困っています」

**Dr. N**「そうですか。まずは見せてくれますか」

**患者 A**「はいどうぞ (図1)」

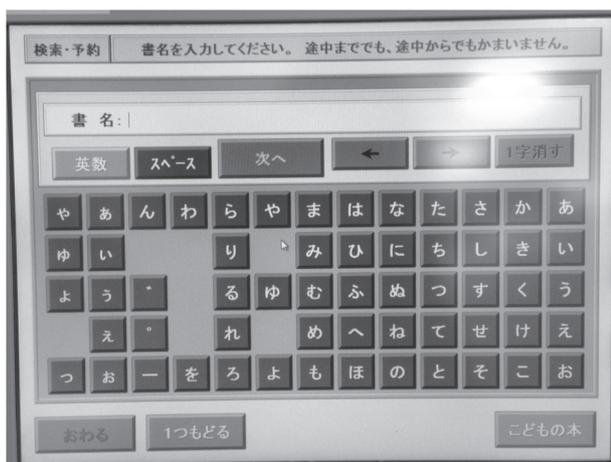


図1 検索ボタンはどこにある？

**Dr. N**「試しに書名で検索してみますか。五十音が右から順に並んでいるんですね。ふむふむ。では私の本を検索するとしましょう。『し・っ・は・い・か・ら・ま・な・ふ・』で検索っと。あれ？ 検索ボタンはどこ？」

**患者 A**「えっ？ そこにありますよ」

**Dr. N**「『おわる』、『1つもどる』、あと『こどもの本』しかありませんが・・・」

**患者 A**「ほら、ここですよ。ここ。上の真ん中に大きな『次へ』というボタンがあるでしょう？」

**Dr. N**「えっ、なんでこんなところに？ 確かにボタン自体は大きいですが、場所がよくありません。画面をデザインする場合、操作の『流れ』と『種類』に一貫性を持たせることが重要です。このシステムの場合、上から順に、『文字編集』『文字入力』『アクション』のグループになっていますね。また、下のボタンの並びを見ると、左が『戻る』、右が『進む』

という流れのようです。この場合『検索』ボタンは、右下に大きく目立つように配置するのが良いと思うのですが・・・なんですかこの『こどもの本』というのは？」

**患者 A**「あ、それは子供向け書籍に力を入れている当館ならではの『イチオシ機能』です。なので一番目立つ場所に配置しています！」

**Dr. N**「だからと言って、本来の検索機能がつかいにくくなってしまっては元も子もありませんよ。強調したいのであれば、トップページにボタンを配置してはいかがでしょう？ あと、ボタンの表示も『次へ』だとわかりにくいので、『検索』あるいは『本をさがす』の方が良いと思いますよ」

**患者 A**「ありがとうございました。治してもらいます」

**Dr. N**「お大事に。次の人どうぞ～」

**患者 B**「こんにちは。私は、とある家庭用冷蔵庫です。イチオシ機能の『冷却調理』が勝手に止まってしまうと文句を言われて困っています」

**Dr. N**「ちょっと診せてもらえますか？」

**患者 B**「はいどうぞ (図2)」



図2 右の『スタート/ストップ』を押すと何が起きる？

**Dr. N**「えっと、4種類の調理方法があるわけですね。で、右下の大きなボタンは・・・」

**患者 B**「はい、これが冷却調理の『開始』『終了』ボタンです」

**Dr. N**「え？ 何でこれだけ独立しているんですか？ ボタンも大きくて目立っていますし・・・」

**患者 B**「それはもちろん、『イチオシ機能』ですから！」

**Dr. N** 「あれ？ 左にもうひとつ『スタート/ストップ』というボタンがありますね。これは…」

**患者 B** 「あ、それはキッチンタイマー用のボタンです。これ、便利なんですよ！」

**Dr. N** 「なるほど、問題の原因がわかりました。まず、この右下の『スタート/ストップ』ボタンが余りにも目立ちすぎているので、キッチンタイマーを使おうとした時に、つい押しすぎてしまいがちになります。結果的に、冷却調理が勝手に止まったように感じられたのでしょうか？」

**患者 B** 「なるほど。…で、どうすれば治りますか？」

**Dr. N** 「大きな『スタート/ストップ』ボタンは、『冷却調理』でしか使わないので、上の4つのボタンとひとまとめにして枠で囲うなど、グループであることを明確にしてください。同じように『キッチンタイマー』の3つのボタンも背景を変えてグループ化した方が良いでしょう。ちなみに、この3つのボタンの並びも、操作の『流れ』に合わせて、『+10』『+1』『スタート/ストップ』の順にした方が良いでしょう」といいますよ」

**患者 B** 「わかりました。治してもらいます！」

**Dr. N** 「お大事に……推したい気持ちはわかるけど、本来の良さを失ってしまっただけだよなあ…」

(♪チャイムの音)

**Dr. N** 「おっ、頼んでた出前が来たぞ！ あれ？ 何でチラシ寿司に大盛りチャーハンがついてるの？ え？ イチオシなのでサービス!？」

今回の症例はいかがでしたか？ 読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください（下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません）。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



**担当医：Dr. ナカムラ**

BADUI 蒐集家。

日々新たなBADUIとの出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

BADUI 凶鑑「失敗から学ぶユーザーインタフェース（技術評論社）」を出版。

**Dr. トモクワのUIトリビア**

適切なグループ化と流れの誘導はインタフェースデザインの基本と言えるが、逆にこれを悪用して、意図的にユーザに押し間違いをさせ、業者側に有利な契約（アイテム課金や無駄なオプションなど）をさせる邪悪なページもある（Dark Patternで検索してみよう）。クリックする前に、ボタンの文言に注意した方が良いでしょう。

診療カルテ	
ID	BADUI-27
氏名	イチオシ機能が自立しすぎたUI
原因・主要症状・経過など	<p>2018.8.31</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「検索」ボタンがわかりにくい 図書検索システム                     <ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト編集位置に混入し2通りわかりにくい</li> <li>「子どもの本」が自立しすぎ</li> <li>「次へ」がわかりにくい → 再配置を適切にする 「次へ」ではなく「さがす」へ</li> </ul> </li> <li>キッチンタイマーで勘違い                     <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却調理用のボタンがうまくグループ化されていない</li> <li>タイマー用のボタン配置に難 → 枠や色でグループを</li> </ul> </li> </ul> <p>キッチンタイマー   スタート                      (+10) (+1) (スタート)   (スタート)                      グループ化は超重要!!</p>
処方・手術・処置など	<ul style="list-style-type: none"> <li>書名欄の右に「次へ」を配置するか「子どもの本」の位置に配置する。</li> <li>「次へ」を「さがす」に変更する。</li> <li>キッチンタイマーと冷却調理用のボタンをそれぞれ色や枠でグループ化</li> <li>「+10」「+1」「スタート」の並びに変更</li> </ul> <p>中村 聡史 (明治大学)</p>